

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成28年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県曽根丘陵公園	所管課	県土整備部 都市計画課
所在地	甲府市下向山町1271	設置年月日 (改築年月日等)	昭和61年10月1日
指定管理者	富士観光開発・富士グリーンテックグループ		
設置根拠 (法律、条例等)	都市公園法、山梨県都市公園条例		
設置目的	都市公園としての①～④の機能を発揮すること ①遊び、憩いの場を提供すること ②防災拠点としての機能を発揮していくこと ③良好な緑地景観、環境を提供すること ④歴史文化を学ぶ場を提供すること		
主な施設内容 (定員等)	○公園面積 38.1ha(うち指定管理面積32.3ha) ○施設の内容 ・研修センター(延床面積992㎡) ・方形周溝墓広場(1,554㎡) ・芝生広場(8,970㎡) ・野外ステージ(野外研修施設、748㎡) ・バーベキュー施設(603㎡) ・花の広場、歴史植物園(1,695㎡) ・日本庭園イベント広場(4,466㎡、ロシアム風の芝生広場) ・その他(ふれあい広場、自然観察路、緑地、園路、駐車場)		
主な業務内容	(1)公園施設及び設置器具等の維持保全 (2)県が実施するイベント等への協力		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	(1)御勅使南公園 (2)富士川クラフトパーク
---------------------	----------------------------

3 利用状況

単位：人、%

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度 (目標値)
利用者数	公園利用者数	318,988	333,563	235,684	
	(内バーベキュー場利用者数)	(4,774)	(5,872)	(6,217)	
	利用者数合計	318,988	333,563	235,684	
	目標値	269,000	320,000	231,000	237,000
	目標値設定の考え方及びその理由	前年度実績 (考古博物館の 利用者を含む)	前年度実績 (考古博物館の 利用者を含む)	考古博物館の利用 者を除いた H26年度実績	考古博物館の利用 者を除いた H27年度実績
	対26年度比		104.6%	73.9%	
利用率	874人/日	914人/日	645人/日		

4 指定管理業務の収支状況

単位：円、%

		平成27年度	平成28年度 (計画値)	平成28年度 (実績値)	平成29年度 (計画値)
収入	施設利用料				
	指定管理者委託料	65,123,000	65,123,000	65,123,000	65,122,000
	その他	320,432	300,000	438,800	300,000
	収入合計(A)	65,443,432	65,423,000	65,561,800	65,422,000
支出	人件費	13,360,000	13,360,000	13,400,000	13,380,000
	県への納付金				
	管理運営費	51,536,045	52,063,000	51,879,615	52,042,000
	うち外部委託費(B)	25,704,900	25,750,000	27,422,730	25,750,000
	支出合計(C)	64,896,045	65,423,000	65,279,615	65,422,000
収支差額(A-C)	547,387		282,185		
外部委託比率(B÷C)	39.6%	39.4%	42.0%	39.4%	
利用者一人当たりの経費	195.2	281.9	276.3	274.8	

5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成28年4月～29年3月 実施方法:公園利用者へのアンケート 回答数:762人
-------	---

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
花や木々について	80.6%	17.7%	1.7%	
トイレや休憩所について	43.0%	46.4%	8.9%	1.7%
園路や広場について	79.5%	18.6%	1.9%	
園内の情報や案内板について	73.4%	22.2%	4.4%	
園内の安全や防犯について	73.0%	24.6%	2.4%	
公園スタッフの対応について	71.7%	27.6%	0.7%	
施設全般の満足度	70.2%	26.2%	3.3%	0.3%

利用者の意見	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも利用させて頂いています、子供も安心して遊ぶ事が出来る。 ・夏はもう少し日陰になる所があると、助かる。 ・トイレが古いので新しくしてほしい又小さい子は和式トイレが難しいので洋式を多くしてほしい。 ・遊具の近くにトイレがほしい。 <p>【公園緑地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつも整備されていて気持ちがいい。
利用者の意見への対応	<p>【施設・設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の点検・パトロールで、不具合のないように努めている。 ・遊具広場近くにミストカーテンを設置して、涼しい場所を提供した。四阿等の設置を県と協議し、対応していく。 ・トイレが古いため掃除をこまめにして、清潔にしている。洋式トイレの使用を希望する人には、研修センター内のトイレを案内している。改修については県と協議し、対応していく。 ・遊具場入口近くにトイレの場所の表示をした。 <p>【公園緑地】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間管理計画に基づいて、芝生・樹木の管理をしている。

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	幼稚園児、小学生、一般個人、各種団体など様々な方が来園するため、施設等の維持だけでなく、緑の空間、芝生広場、遊歩道の整備など利用者満足度の向上につながる園内の整備を行った。	業務計画書に沿って施設の維持点検や植栽管理が行われている。
運営業務	当公園の特性を十分認識して、緑の空間や遊歩道整備などで幼稚園・小学校・各種団体やバーベキュー場・芝生広場・野外ステージなどの利用をしたい来園者が円滑に利用出来るように実施した。イベントを開催し公園・施設のPRに取り組んだ。	H28年度は例年のイベントに加え、古墳ラリーや遺跡めぐりスタンプラリーなどを考古博物館と共催で実施し、公園・施設のPRに努めている。 また、第31回都市公園等コンクールにおいて、「五感で楽しむ古代の歴史と文化」として国土交通省都市局長賞を受賞したことも評価出来る。
利用状況	イベントや公園の広告を行うことで、公園の良さを多くの人に知ってもらい、利用者の増加に努めたが、イベント実施時に雨や風に見舞われ公園利用者が予想より少なくなるなどした。緑の広い芝生空間や遊歩道や展望広場の整備などを通じて、利用者数を底上げしていく。	H28年度は考古博物館や地元有志と連携したイベントを実施したが、大型イベントが荒天となるなど、想定した来園者数に満たなかった。リピーターの増加など利用者数の底上げを図り、公園利用者の増加に努めること。
収支状況	施設の維持管理や修繕を、可能な限り職員が対応することにより、経費節減に取り組んだ。	維持管理の一部を職員が直営で行うことにより、経費削減に努めている。
自主事業	考古博物館、研修センターと協力を行ってイベントを開催することで、利用者数の増加を図った。	提案された自主事業は計画どおり実施された。追加のイベントとして方形周溝墓広場で星を見る会を開催した。当公園の特色を活かし、考古博物館と連携したイベントが実施されている。
利用者満足度	緑地管理を効率よく行って景観を良好に保っていることが満足度に反映された。反面、満足でない利用者の意見を参考にして改善を行うことが必要である。	アンケート結果は全体的に高い満足度が得られている。今後も利用者の意見を反映させることで、高い満足度を維持できるようにすること。
運営目標の達成状況	<p>運営目標の指標</p> <p>①公園利用者数 目標値 231,000人 → 実績値 235,684人</p> <p>公園利用者数は目標値を上回り、目標を達成出来た。</p>	
施設所管課による総合的な評価及び指導事項	伐木や剪定を積極的に行うことにより、公園利用者の安全性や利便性の向上に努めている。利用者の定着化、リピーターの確保を行い、園内施設の利用や自然に親しんでもらえるよう、季節ごとのイベントを定着させていくことで、利用者の増加に努めること。	
施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況	園内の状況を確認して樹木等で死角がない様、スタッフが早い段階に剪定及び草刈りを行い安全確保に努めた。 また、植物管理、芝生管理の徹底を行い、施設・設備の修繕を迅速に対応し、安全に利用出来る環境を整えることで利便性の向上を図った。 毎年、考古博物館や研修センターと連携したイベント等を開催することにより、公園が広く周知されてきているので、今後も来園者の増加を図っていく。	

7 管理体制(組織図)

平成28年4月1日現在



園長	1人
副園長	1人
非常勤職員	2人
合計	4人